

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立葉山公園・県立はやま三ヶ岡山緑地

指定管理者 : (財) 神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 横須賀土木事務所

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月28日	5月イベントの広報『バードウォッチング』
5月	6月10日	7月23日	バードウォッチング(葉山公園～三ヶ岡)
6月	7月9日	8月10日	生物観察会、修繕工事(腐食階段)
7月	8月10日	9月9日	接遇研修、危険木枝落し(眺望確保)
8月	9月10日	11月9日	園内マナー指導、協会本部施設パトロール
9月	10月13日	12月13日	自然観察会、大スギマダチ対策

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

(利用促進方策及び地域や関係機関との連携について)

- 1) 海辺の自然観察会:磯の魚介類や植物観察。バードウォッチング等。
- 2) スタンプラリー: 葉山公園1カ所、三ヶ岡山緑地4箇所のスタンプ箇所。
- 3) ビーチフラッグ大会: 公園の隣接海浜での競技。
- 4) 竹細工教室: 葉山公園に自生している竹を利用してのかけ細工教室。
- 5) 花壇管理ボランティア: 近隣住民との共同作業。
- 6) 園内清掃ボランティア: 景勝地である葉山公園の美化運動。

<実施状況>

- 1) 海辺の自然観察会は5/22.6/12.9/4の3回実施、好評であった。
- 2) スタンプラリーは10/20から12/10の50日間、葉山公園及びはやま三ヶ岡山緑地で実施。
- 3) 同様な内容の民間主体イベント「洋之介ファンフェスタ」を9/5に後援した。
- 4) 現在調整中である。
- 5) 現在調整中である。
- 6) 公園の正門付近の清掃を、近隣住民と協調して実施している。
公園及び海浜の来客者へ、ゴミの持ち帰りのお願いとビニール袋提供もしている。
10/30に海岸清掃ボランティアをJ A横須賀葉山と共催で実施予定であったが、台風14号来襲で中止になった。

3 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	26,100	14,000	0	26,100	0
上半期計 (a)	13,937	4,024	0 (0)	12,213 (9,460)	1,724
下半期計 (b)					
4月	1,653	1,144	0 (0)	1,479 (610)	174
5月	2,023	1,063	0 (0)	1,742 (815)	281
6月	2,358	1,817	0 (0)	2,150 (503)	208
7月	2,918	0	0 (0)	2,573 (2,338)	345
8月	4,262	0	0 (0)	2,575 (4,308)	1,687
9月	723	0	0 (0)	1,694 (886)	△ 971
合計 (a+b)	13,937	4,024	0 (0)	12,213 (9,460)	1,724

1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

年間計画に基づき、上半期の夏季駐車場収入の一部を、下半期に執行する管理業務にあてる計画のため、収支差額が発生している。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況:定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況:車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
積立等の状況:積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

葉山公園	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	91,545人	95,676人	△4.3%
下半期計 (b)	0人	0人	
4月	10,900人	13,920人	△21.7%
5月	18,205人	17,190人	5.9%
6月	12,390人	11,930人	3.9%
7月	13,610人	12,816人	6.2%
8月	21,215人	22,970人	△7.6%
9月	15,225人	16,850人	△9.6%
合計 (a+b)	91,545人	95,676人	△4.3%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

今年の4月は、前年度と比較して降雨日が多く、マリンスポーツが主体の当公園の特徴として、降雨日の来園者が極端に減少するため。猛暑の影響により、公園利用者が減少した。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月						
5月		1				1
6月						
7月					1	1
8月						
9月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者から評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・水道が何時も混んでいる。	・県へ報告している。
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・公園進入路が狭く渋滞する。	・有料期間は公園管理者が交通整理。

4 利用状況

はやま三ヶ岡山緑地	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	5,899人	5,682人	3.8%
下半期計 (b)	0人	0人	
4月	720人	1,210人	△40.5%
5月	1,256人	1,025人	22.5%
6月	798人	1,040人	△23.3%
7月	920人	802人	14.7%
8月	1,165人	875人	33.1%
9月	1,040人	730人	42.5%
合計(a+b)	5,899人	5,682人	3.8%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

4月の来園者減少は、降雨日が昨年と比較して多かったことが原因と考える。また、増加した月の特徴としては、「歩け歩け会」や近隣のスポーツグループ等の影響がある。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月						0
5月						0
6月						0
7月						0
8月						0
9月						0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			0
5月			0
6月			0
7月			0
8月			0
9月			0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	葉山公園は、海浜スポーツや景観を目的とした方の車での来園が多く、狭い駐車場の有効管理を行うと共に駐車場管理員の接遇研修を行い公園の魅力向上を図っている。公園の景観に大きな比重を占める松林の管理に当たっては、公園協会の樹木医により2回/年の診断を実施している。また、三ヶ岡山緑地は、園路の除草や山野草の保存管理を行うと共に危険木の除去や老朽化した階段の補修を実施して快適で安全な管理を行っている。
施設所管課	葉山・三ヶ岡山緑地の植物管理は、被害が起こる前に危険な木に対して枝落しを行い、計画的に伐採や伐木を行った。特に三ヶ岡では眺望確保に努め、利用促進が期待される。三ヶ岡内の修繕(腐食階段)や展望台については、県で補修工事を行う予定。 5月、6月に『バードウォッチング』(葉山～三ヶ岡)や生物観察会を開催。また、他団体主催(後援)の故プロサーファーファンフェスタが盛況に行われたと報告を受けているが、一方で、水上バイク利用者増加や駐車場誘導の混雑の対策強化を考える必要がある。その他、講師の指導による接遇研修や園内マナー指導等、公園利用者の向上に努めている点は評価できる。 今後の課題は、地元ボランティア活動への植生調査の参加呼びかけ・ボランティア活動の受入体制の整備である。